

(1) 渋滞対策

- 主要渋滞箇所における課題の把握
 - 渋滞対策協議会においてETC2.0等を用いて継続的に交通状況を把握するとともにカルテを作成し、課題状況の把握及び情報を共有する。
- 対策の検討
 - 一定の効果が期待される短期的なピンポイント対策を検討する。

(2) 主要渋滞箇所の特定解除

- 主要渋滞箇所についてETC2.0等を用いて継続的に交通状況をモニタリング、特定解除フローに基づき解除を検討する。

(3) 京都都市圏WG

- 「京都都市圏」WG会議を開催、地域の交通状況や課題を共有し、都市圏の各エリアについて継続的な議論を実施する。
- 新十条通の無料化等交通状況の変化要因についてETC2.0分析や交通実態調査等により交通状況を把握、検証する。

平成31年度協議会の予定

	H31.4-6	H31.7-9	H31.10-12	H32.1-3
京都府域渋滞対策協議会		● 協議会 6～7月頃予定		● 協議会 2月頃予定

※各会議スケジュールは現時点での想定であり今後の分析等を踏まえ調整